

# 薬の種類

	内服	外用	注射
用法	口から飲み込む	皮膚・粘膜表面に塗布	針を使って体内に注入する
作用部位	全身的に作用する	局所的に作用する	全身的に作用する
持続時間	長い	短い	短い～長い

# 外用の種類



# 各貼り薬の違い

- ・かぶれやすい人や頻繁に貼り替えたい人はパップ剤
- ・よく動かす関節に貼りたい人はテープ剤
- ・冷感、温感については基本的に好みで良い
- ・風呂の前後30分は貼らない方がいい
- ・種類によって副作用は違う
- ・中には全身に副作用が出るものも



	パップ剤	テープ剤
形状	厚い	薄い
粘着力	弱い	強い
におい	比較的多い	比較的少ない
回数	1日2回が多い	1日1回が多い
用途	同じ	
主な成分		
効果		

# 痛み止め以外にも色々な貼り薬が

高血圧症

アルツハイマー  
型認知症

パーキンソン病

過活動膀胱

更年期障害

禁煙補助

がん疼痛治療

# 各ぬり薬の違い

- ・保湿性を高めたいなら軟膏
- ・クリームは伸びがよく皮膚に吸収されやすい
- ・ローションはベタつきがないので体毛がある場所でもぬりやすい
- ・傷がある場合は刺激の少ない軟膏が良い



	軟膏	クリーム	ローション
刺激	弱い	軟膏に比べて強い	軟膏に比べて強い
ベタつき	強い	軟膏よりベタつきにくい	一番ベタつきにくい
用途	同じ		
主な成分			
効果			

# 使用量 (FTU)

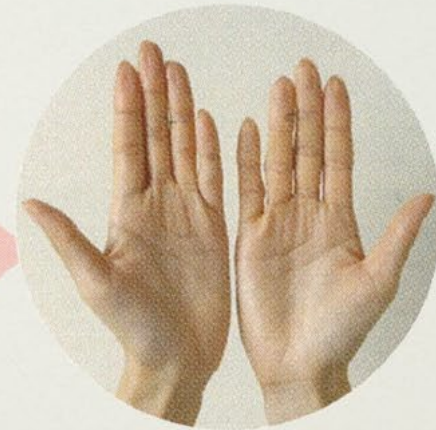
軟膏・クリームは  
人差し指の先端から  
1つ目の関節まで



ローションでは  
1円玉大で



手のひらの面積  
約2枚分に塗れます。



# ぬり薬にも色々種類が

化膿止め

痒み止め

痛み止め

炎症止め

水虫等用

ヘルペス等用

# めぐすりの使い方

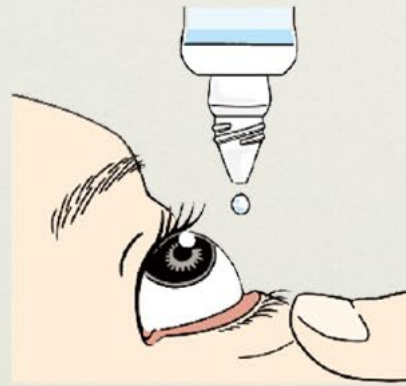


## 基本

下まぶたを軽く下にひき、  
1滴を確実に点眼します\*



このとき、容器の先がまぶた  
やまつ毛、目に触れないよう  
に注意しましょう

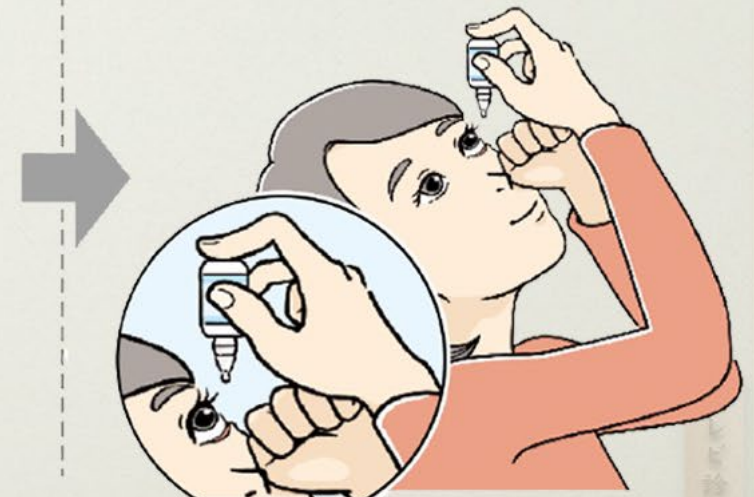


## げんこつ

げんこつを下まぶたにあて、  
軽く下にひきます



げんこつに点眼容器を持つ手を  
のせ、1滴を確実に点眼します\*



参天製薬HPより



# 坐薬

- ・ 中腰である程度入れてから立ち上がると自然に入っていく
- ・ すべりが悪い時は水やオイルで先端を濡らして
- ・ 挿入後出てきてしまった場合、形が崩れているようなら使わず様子を見てください
- ・ 体温より少し低い温度で溶けるようになっているので持ち運びは注意



## まとめ

- ・ 今日紹介した以外にも使い方のコツ等はたくさんあります
- ・ うまく使えない、使い方がよくわからない等があったら薬局で気軽にご相談ください
- ・ 外用薬であっても自分に処方された薬を他の人にあげないでください
- ・ 全身に作用する外用薬もあるので、他の病気がある方は必ず使用する前に医師・薬剤師にご相談ください